

リンパ浮腫外来の現状

姫路市・だいとうクリニック 延澤 昌代（看護師）

だいとうクリニックは2006年よりリンパ浮腫外来を立ち上げ、これまでに422名の患者さんの相談に対応してきました。

当院がリンパ浮腫外来を立ち上げたきっかけは、1人の患者さんとの出会いです。リンパ浮腫で困っている患者さんをどうにかしてあげたいという思いから、リンパ浮腫について学びはじめ、リムズ徳島クリニック院長 小川先生に講演をお願いし、「あじさい会」というがん患者さんを対象にした患者会で勉強会を開きました。座りきれないほどの方々が参加。困っている患者さんがたくさんいることを知りました。

そんな方々の力に少しでもなりたいというスタッフの思いと、院長の協力を得て、医療リンパドレナージセラピストの養成講習会を受講。セラピストの資格を得て、リンパ浮腫外来を立ち上げました。それから13年、口コミやホームページを見た方、紹介状を持って来られる方など県内各地から相談に来られています。セラピストも現在5名となり、ドレナージをはじめ弾性ストッキング、スリーブ着用の方法や購入、弾性包帯による圧迫方法、セルフケアの指導などリンパ浮腫に関する相談に対応しています。

来院される患者さんの年齢幅は大きく、高齢の方もいます。生活スタイルも個々に違うので、その人に合った指導を行うことが大切であると考えます。指導をする中で、セラピストは患者さんから学ぶことも多く、実体験から得た経験を教えてください。日常生活に役立つ情報が多く、それらの情報はより多くの方にアドバイスとして発信していくようにしています。

今回、当院のリンパ浮腫外来の現状をまとめました。日頃行っているケアや役立つ情報についても発表したいと思います。